

< 中国産パフィオペディルムの密輸報道について >

2006年10月14日

日本洋蘭農業協同組合

代表理事・組合長 畑 信裕

2006年10月11日の早朝、種の保存法違反の疑いで中国人留学生3名が逮捕され、翌12日には日本人1名が逮捕されました。

一連の事件は中国本土より山取りと思われるパフィオペディルムを日本へ国際速達郵便（EMS）で密輸し、インターネットオークションを用いて売りさばいていたと報道されています。また、これらの密輸苗を購入したのも自宅搜索を受けたとの報道もあります。

新聞・テレビ等の報道各社により、蘭の密輸としては非常に大きく報道がなされています。当組合としても報道各社からのこの件に関する取材に対し総務渉外委員会が担当窓口となり対応をし、情報の提供、パフィオペディルムの写真提供などの協力をいたしております。

これらの情報提供などは、正規に蘭類の輸出入を行っています組合員が不利益な状況にならないような報道を行っていただくための措置であります。一部の報道で誤解を招くあるいは不適切と思われる表現でパフィオペディルムの原種が紹介されている例も見受けられます。これらの取材の場合インタビューのすべてが使用される訳ではなく、番組の時間や誌面の都合上インタビューの一部のみが使われるために誤解とも思える表現が見受けられることがあります。

不適切な表現が見受けられた場合は日本洋蘭農業協同組合としてテレビ局や新聞社への抗議・訂正を求めています。

現在国内の洋蘭園で販売されていますパフィオペディルムは、ワシントン条約締結以前に輸入された苗を基に国内で生産された苗、もしくは正規輸入手続きを経て輸入された苗となっています。

一部の報道ではパフィオペディルムすべての輸入が禁止されているかのような表現もありますが、現在でも正規輸入が可能な原種があり、実際に輸入も行われています。

パフィオペディルムに限らず野生蘭の密輸は犯罪です。正規に輸入された苗をお求め頂けるよう当組合としましては関係省庁とも密に連絡を取りながら最新の情報に基づき、正規の輸出入を行うよう加盟組合員への指導を行っております。

日本洋蘭農業協同組合では洋ラン愛好家のみなさまへご安心して美しい洋ランをお届け出来ますよう努力してまいりますので、違法なランを購入されないようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせは、JOGA 事務所まで文書にてお願いいたします。

JOGA（日本洋蘭農業協同組合）事務所 メール：joga.honbu@nifty.com